がん化学療法治療計画書　肺がん-(20) 2020.6

担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療　□ 症状緩和
	□ 術前補助　□ 術後補助
告知程度	□全告知　□部分告知　□未告知
告知内容	□ 癌（ 原発 ・ 再発 ・ 進行 ）
	□ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する
	看護師（　　）　薬剤師（　　）
HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

身長:　　cm	体重:　　Kg
体表面積	m^2

非小細胞肺癌　ドセタキセル＋S-1併用療法

DOC　40mg/m^2

↓

S-1　80mg/m^2

Day 1　8　14　21

1クール　3週間
S－1は、2週間内服後、1週間休薬
DOCは、Day1投与

投与開始日　　年　　月　　日　　クール予定

● S－1　80mg/m^2　Day　1～14　計算量:　　mg　投与量:　　mg

● ドセタキセル　40mg/m^2　Day　1　計算量:　　mg　投与量:　　mg
（DOC：一般名ドセタキセル、商品名ワンタキソテール）

【Day1の投与スケジュール】

Day1	＜main点滴＞		
	1）EL－3号　500mL	1V	3時間30分
	＜側管点滴＞		
	1）生食　100mL	1V	30分（ドセタキセル開始1時間前）
	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	12A	
	ファモチジン静注20mg	1A	
	ポララミン　5mg	1A	
	2）生食　100mL	1V	30分
	プリンペラン　10mg	1A	
	3）5%Tz　250mL	1V	1時間
	ドセタキセル　（　　）　mg		

★終了後は必ずメインの点滴でルートフラッシュすること！
★原則として、添付溶解液全量に溶解して10mg/mLの濃度とした後、必要量を注射筒で抜き取り、直ちに250または500mLの生食又は5%ブドウ糖液に混和し、1時間以上かけて点滴静注する。
★添付の溶解液にはエタノールが含有されているので、必ず問診によりアルコール過敏の有無を確認
★ドセタキセルは最初10分間はゆっくりと点滴し、アナフィラキシーなどがないことを確認して残りを点滴するように。（過敏症の発現に注意）
★投与当日に好中球2000/mm^3未満の時
　→骨髄機能が回復する（好中球2000/mm^3以上）までは投与延期
★感染症またはその疑い：CRP異常（上昇）、発熱、WBC異常増殖など
　→すべての異常が改善するまで投与延期
★禁忌：本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
★慎重投与：浮腫のある患者